

自然保護の窓

1. 第22回「ニホンザル」バイオリソース運営委員会出席報告

これまで「ニホンザル」バイオリソースプロジェクトの運営委員会には、学会からは保護・福祉担当理事あるいは幹事がオブザーバとして出席してきました。しかし、学会ではより積極的な関与が必要であるとの方針を決定し、第22回運営委員会より、保護・福祉担当理事の大井が運営委員として参加することになりました。第22回運営委員会は、2012年3月1日に岡崎の生理学研究所で開催されました。幹事の太石高生氏もオブザーバとして出席しました。

委員会では、平成23年度の飼育、繁殖、供給、供給先での飼育・利用の状況、第3期NBRプロジェクト申請が採択されたことなどについて報告がありました。また、高齢個体など繁殖に寄与しないサルの飼育の問題、供給目標を達成するための課題などについて議論されました。

2. 保全・福祉活動助成への応募状況

一般枠に1件の応募があり、採択しました。横浜市立よこはま動物園ズーラシアの平賀真紀さんらが応募された「ズーラシアで飼育されるチンパンジーの社会管理に向けた行動モニタリングシステムの構築」に、95,000円を助成します。申請は、ズーラシアで飼育されているチンパンジーを対象に、飼育環境に起因する個体どうしの相互交渉をめぐるトラブルを早期に検知し未然に防ぐ方策をさぐるための行動研究を目的としたものです。国内でのチンパンジー飼育技術の発展に寄与する活動と考えられます。

平成24年度の実績も始めています。応募をお待ちしています。詳細は、霊長類学会ホームページをご覧ください。なお、東日本大震災特別枠については、3件の応募があり、現在、審査中です。

3. テレホンカードの処分について

第27回総会での承認にもとづき、過去に自然保護委員会で作成したテレホンカード（50度数）を処分しました。まず、前号でもお伝えしたように、

2011年9月30日を期限に会員のみなさまに1枚300円で販売したところ、期限後に購入希望を申し出てくださった方もふくめ、336枚の売り上げがありました。残り857枚は、金券ショップに名古屋市内の金券ショップに1枚200円で売却しました。売却総額は272,600円で、自然保護委員会会計に本年度の収入として算入しました。また、同様に過去に自然保護委員会で作成したグッズ（フロッピーディスクケース、ペーパーホルダー）については、今後売却の見込みがないため、廃棄しました。

（文責：大井徹・河村正二・竹之下祐二）